

高千穂町観光マスタープラン

1 計画の概要

【策定の目的】

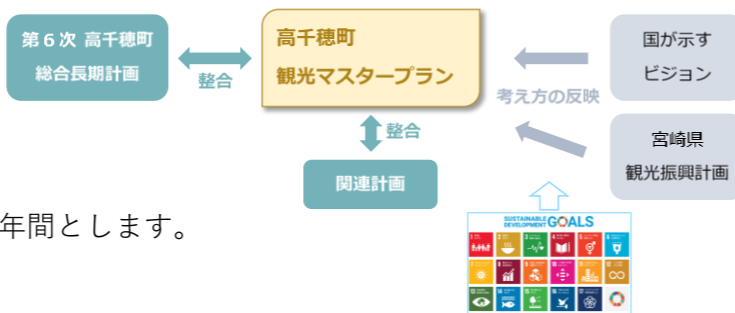
現行の観光マスタープランが 2023 年度までの計画であるため、現状の社会動向やニーズの変化に応じた本町の観光振興をより一層充実させることを目的として、「観光マスタープラン」の見直しを行いました。

【計画期間】

計画期間は、2023 年度から 2031 年度までの 9 年間とします。

【計画の位置付け】

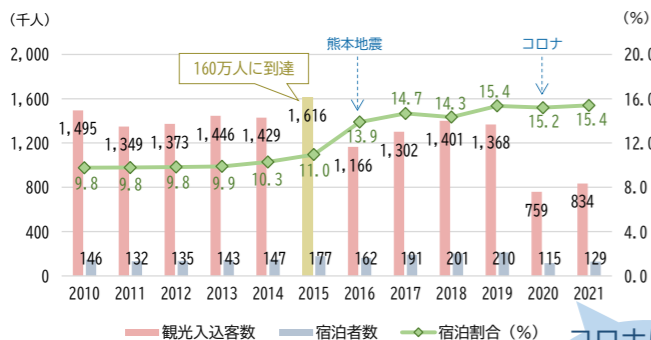
本計画は、本町の観光分野における施策及び事業を示す指針として位置付けます。



2 観光に関する動向

本町の近年の観光に関する動向について、特徴的なものを以下に示します。

【観光入込客数・宿泊者数の推移】

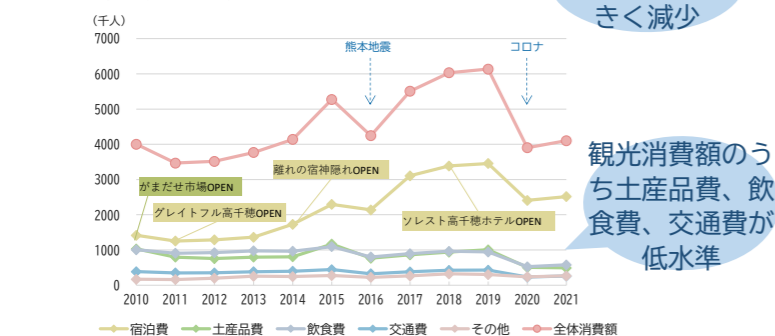


【コンテンツ開発】

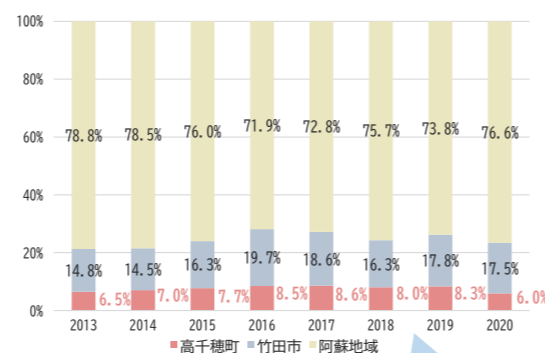


地域資源を活用したコンテンツ開発が活発化

【観光消費額の推移】



【阿蘇くじゅう観光圏内の観光入込客数割合】



阿蘇くじゅう観光圏内で人を呼び込めていない

3 観光の課題

持続可能な観光地域づくりを目指すにあたり、以下のような課題があります。

- 持続可能な観光地域づくりに向けたブランディング
- ターゲットに応じたマーケティング
- 本町の魅力を伝えるプロモーション
- 本町の観光基盤を下支える体制整備
- 来訪者満足度を高めるための受け皿整備
- 観光危機管理対策の意識醸成

4 本町の観光が目指す姿

近年の動向や課題を踏まえ、持続可能な観光地域づくりを目指すための基本目標、基本目標を実現するための基本方針及び目標値を以下のとおり設定しました。

《基本目標》

暮らし、文化、自然を紡ぎ、
 チャレンジを通じて次の世代に想いをつなぐ、神話の里 高千穂
 ~オール高千穂で変化し続ける持続可能な観光地域づくり~

《基本方針》

- 方針-1 来訪者調査及びブランディング・プロモーション戦略の検討
- 方針-2 観光消費額増に向けた滞在型コンテンツ等の造成
- 方針-3 受け入れ体制整備とおもてなしの実践
- 方針-4 戦略の効果的な推進
- 方針-5 安全・安心な観光地域づくり

【目標値設定の考え方】

- 基本目標に掲げた“持続可能な観光地域づくり”を実現するには、観光入込客数だけでなく、経済水準を追い求めていく“稼ぐ観光”を目指すことが重要となります。
- “稼ぐ観光”を実現するには、現在の通過型観光から滞在型観光への転換を図る必要があるため、体験プログラムの開発や周遊性の向上など、滞在時間拡大に向けた取り組みを推進していく必要があります。滞在時間を拡大することが、結果として消費額や宿泊者数の増加にも繋がります。
- 地産地消や地元産品の開発など様々な施策を講じて本町の魅力を創出・発信し、体感してもらうことで本町の“ファン”を増やし、リピーターの獲得にも力を入れていく必要があります。

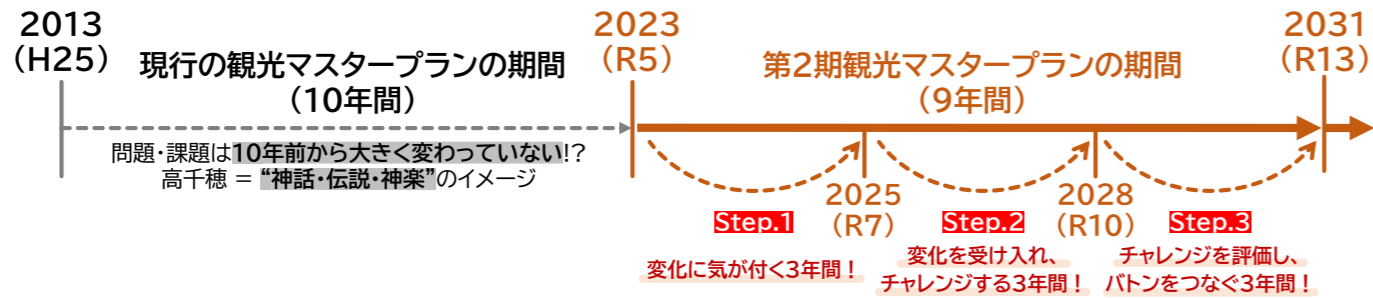
【設定した目標値】

評価指標	現状値	目標値		
	2021年度 (令和3年度)	2025年度 (令和7年度)	2028年度 (令和10年度)	2031年度 (令和13年度)
個人観光消費額	4,921円	5,200円	5,500円	6,300円
宿泊者数	12.9万人	17.0万人	18.5万人	20万人
来訪者満足度	28%	36%	42%	48%

5 観光戦略

〔基本施策〕

基本目標及び目標値の達成を実現するために必要となる取り組みを、基本施策として設定します。本計画では、基本施策を9年間という計画期間の中で段階的に展開していく計画としています。施策展開のイメージと施策の項目は以下のとおりです。



変化を起こし、変化をこまめにチェックすることをポイントとします



基本施策		～2025年	～2028年	～2031年
1-①	ニーズ調査	→		
1-②	ビックデータ等の活用	→		
1-③	ブランド戦略の再構築	→	→	
1-④	多様な媒体を活用した情報発信	→	→	→
2-①	滞在型観光に向けたコンテンツ開発・強化	→	→	→
2-②	周辺市町村との連携	→	→	→
2-③	地産地消の推進	→	→	→
3-①	アクセス性の向上		→	
3-②	人材マッチング	→	→	→
3-③	回遊性の向上		→	→
3-④	ユニバーサルデザインの促進			→
4-①	情報共有の場づくり	→	→	→
4-②	日本版持続可能な観光ガイドラインの取組		→	
4-③	担い手・後継者の確保・育成	→	→	→
5-①	観光危機管理対策の推進			→

〔重点施策〕

本計画は、3つのSTEPを踏み、段階的に目標の実現を図る計画としています。そこで、まずは本町の観光が目指すべき方向性や考え方を改めて調査・検討し、今後の実施体制を構築することに力を入れるべきだと考え、以下の施策を重点施策に位置付けます。

オール高千穂、観光推進プロジェクト

重点施策	取り組み内容	期待する効果
〈重点施策①〉 ニーズ調査	○ 来訪者調査（町内、阿蘇くじゅう観光圏などの周辺観光施設等） ○ WEB アンケート調査による本町のポジショニング調査	✓ 肌感覚で行ってきた施策の検証 ✓ 現状取り組んでいる施策に対する課題抽出や新たなニーズの把握
〈重点施策②〉 ビックデータ等の活用	○ 町内観光客の動向分析	✓ 観光客の動きを把握することで、満足度向上に向けて必要な仕掛けの検討に活用が可能
〈重点施策③〉 ブランド戦略の再構築	○ 上記①②の結果を踏まえ、呼び込みたいメインターゲットを設定 ○ そこに対する適切なアプローチ（コンテンツ、情報など）を検討	✓ ファンを増やすことで、リピーターの増加を期待 ✓ メインターゲットを設定することで、必要な取り組みを明確化
〈重点施策④〉 情報共有の場づくり	○ ブランディングやマーケティング等に関する勉強会の開催 ○ 上記①～③に関する意見交換会の開催	✓ 町・観光関連事業者の取り組みを適宜共有することが可能 ✓ 関係者が一堂に会して勉強会等に取り組むことで、一体感や新たな連携の創出を期待

6 本計画の実現に向けて

本町では、「町」「観光協会」「高千穂まちづくり公社」に加え、町内の観光関連事業者やその他関係機関等と連携・協働しながら、本計画に示す観光施策を推進していきます。

計画推進にあたっては、計画や基本施策の進捗状況、KPIの達成状況、観光振興に向けた課題などについて、各観光推進に係る関係団体や事業者間で定期的に情報共有を行うことができる仕組みづくりとして、「オール高千穂ビジョンミーティング」の設置を検討します。

